

古文ドリル：「しか」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「しか」の正体（2用法）

古文の「しか」は、直前の語の活用形を見るだけで見分けられます。入試では過去の助動詞「き」の已然形「しか」が圧倒的に頻出です（係り結びや「～しかば」「～しかど」の形）。

用法	接続（直前の形）	訳	例
① 過去の助動詞「き」の已然形	連用形+しか	～た（已然形→ば/ど/ども、こそ結び）	ありしかば
② 副助詞（限定）	体言・副詞・連体形など+しか	～だけ・～しか～ない（下に打消）	花しか咲かず

過去「き」の活用は（せ）／○／き／し／しか／○。已然形が「しか」です。已然形なので、後ろに「ば・ど・ども」がつくか、係助詞「こそ」の結びになります。

識別の鉄則

- 「しか」の直前が連用形（あり・言ひ・見・聞き等）→過去の助動詞「き」の已然形。
- 文中に係助詞「こそ」があれば、その結びとして文末が「～しか」（已然形）になる＝過去「き」。
- 「～しかば」「～しかど（も）」の形も過去「き」已然形。
- 直前が体言・副詞で、下に打消（ず・じ・なし）があれば→副助詞「しか」（限定「～だけ・～しか～ない」）。
- 副助詞は上代（万葉集）に多く中古以降は少ない。迷ったらまず過去「き」を疑うのが得策。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① 直前が「連用形」かを見る

- 「ありしか」「言ひしか」「見しか」「聞きしか」→連用形+しか＝過去「き」の已然形。

コツ② 「こそ」「ば」「ど・ども」を探す

- 「こそ～しか」は係り結び（已然形結び）＝過去「き」。
- 「～しかば」（～たので）「～しかど（も）」（～たけれど）も過去「き」已然形。

コツ③ 「体言+しか+打消」は副助詞

- 「花**しか**咲かず」「これ**しか**見えず」→ 体言+しか+打消=副助詞 (限定)。

よくある引っかけ

- 「しか」を見て反射的に現代語の「～しかない」(副助詞) と決めない。直前が連用形なら過去「き」。
- カ変「来」+しか=「来(き)しか」、サ変「す」+しか=「せしか」も過去「き」已然形(特殊な接続)。
- 係助詞「こそ」があれば文末「しか」は已然形結び=過去「き」。

採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】基礎編 (Q1~Q20)

連用形+しか(過去「き」已然形)と、体言+しか(副助詞)を純粹に見分ける。

Q1. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

あり**しか**ば、出でぬ。

Q2. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

花**しか**咲かず。

Q3. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

見**しか**ば、あやし。

Q4. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

言ひ**しか**ど、聞かず。

Q5. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

これ**しか**知らず。

Q6. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

聞き**しか**ば、驚きぬ。

Q7. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

思ひ**しか**ども、かなはず。

Q8. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

君**しか**頼まず。

Q9. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

来(き)**しか**ば、待ちけり。

Q10. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

せ**しか**ば、悔ゆ。

Q11. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ただ一人**しか**なし。

Q12. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ありがたくこそ侍り**しか**。

Q13. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

水**しか**飲まず。

Q14. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

受け**しか**ば、喜びぬ。

Q15. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

名をこそ聞き**しか**。

Q16. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一夜**しか**あらず。

Q17. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

立ち**しか**ば、見送りぬ。

Q18. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

あはれにこそ覚え**しか**。

Q19. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

我**しか**知らず。

Q20. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

月日経**しか**ば、忘れぬ。

【第2部】標準編 (Q21～Q50)

「～しかば／～しかど／こそ～しか」の形を中心に、過去「き」已然形を確実に見抜く。

Q21. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

雨降り**しか**ば、道あしし。

Q22. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

仰せられ**しか**ば、かしこまりぬ。

Q23. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いと興ありとこそ思ひ**しか**。

Q24. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

約せ**しか**ど、来ず。

Q25. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

暮れ**しか**ば、宿借りぬ。

Q26. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いみじくこそ悲**しか**りしか。

Q27. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

風吹き**しか**ば、波荒し。

Q28. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

花のみこそ咲き**しか**。

Q29. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

別れ**しか**ど、忘れず。

Q30. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ただ夢**しか**頼むものなし。

Q31. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

訪ね来**しか**ば、留守なりき。

Q32. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

心細くこそ覚え**しか**。

Q33. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いと寒かり**しか**ば、火を焚く。

Q34. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

われ一人**しか**残らず。

Q35. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

月見**しか**ば、故郷を思ふ。

Q36. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

たびたびこそ申し**しか**。

Q37. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

雪積もり**しか**ば、道閉ぢぬ。

Q38. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

名のみ**しか**残らず。

Q39. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

あやしと見**しか**ど、過ぎぬ。

Q40. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いとうれしくこそ侍り**しか**。

Q41. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

言伝（ことづ）て**しか**ば、安し。

Q42. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一日**しか**あらず。

Q43. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

帰り**しか**ば、人もなし。

Q44. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

げにこそ思ひ**しか**。

Q45. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

召し**しか**ば、参りぬ。

Q46. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ただ涙**しか**出でず。

Q47. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

旅寝（たびね）せ**しか**ば、夢も見ず。

Q48. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

心にしみてこそ聞き**しか**。

Q49. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

待ち**しか**ど、来ずなりぬ。

Q50. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一言（ひとこと）**しか**残さず。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

形容詞のかり活用+しか、紛らわしい連用形、副助詞の打消呼応を見抜く。

Q51. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

めでたくこそ待り**しか**。

Q52. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

露**しか**置かぬ朝。

Q53. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

あさましくこそ覚え**しか**。

Q54. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

老い**しか**ば、力なし。

Q55. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

我のみ**しか**知る人なし。

Q56. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いかにとこそ問ひ**しか**。

Q57. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

恋ひ**しか**ば、文書く。

Q58. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

をかしくこそ見え**しか**。

Q59. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ひとひら**しか**散らず。

Q60. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

あまた集まり**しか**ど、定まらず。

Q61. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

戦（たたか）ひ**しか**ば、勝ちぬ。

Q62. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

かばかりとこそ見え**しか**。

Q63. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

灯（ともしび）**しか**頼みなし。

Q64. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

出で立ち**しか**ば、見送りき。

Q65. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いみじとこそ聞き**しか**。

Q66. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ただ一輪（いちりん）**しか**残らず。

Q67. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

別れ告げ**しか**ば、涙落つ。

Q68. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ありがたくこそ承（うけたまは）り**しか**。

Q69. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一人**しか**頼む人なし。

Q70. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

思ひ初（そ）め**しか**ば、忘れず。

Q71. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

暮らし**しか**ど、心慰まず。

Q72. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

このことのみこそ案じ**しか**。

Q73. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一すぢ（一筋）**しか**通らず。

Q74. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

申し受け**しか**ば、いそぎ参る。

Q75. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

寝（い）ね**しか**ど、寝（ね）られず。

Q76. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

我**しか**あらじ。

Q77. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

よろこびてこそ受け**しか**。

Q78. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

旅立ち**しか**ば、便りもなし。

Q79. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

月のみこそ照らし**しか**。

Q80. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一声（ひところ）**しか**聞こえず。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

係り結び・有名な文脈で、過去「き」已然形と副助詞を確実に判別する。

Q81. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

都にてこそ聞き**しか**、かかる山里にも住む人ありけり。

Q82. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

花**しか**なくに鳴く鶯。

Q83. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

心のうちにこそ思ひ**しか**、え言はざりき。

Q84. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

あり**しか**ばこそ、今も恋しけれ。

Q85. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

われ一人**しか**生きて帰らず。

Q86. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いみじう労（ら）たくこそ覚え**しか**。

Q87. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一夜（ひとよ）**しか**契らざりき。

Q88. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

げにと聞こえ**しか**ば、うなづきぬ。

Q89. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

月をのみこそ眺め**しか**。

Q90. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

我ばかりかく思ふらむと思ひ**しか**ど、さもあらざりけり。

Q91. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ただ一筋（ひとすぢ）に**しか**頼まず。

Q92. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

御消息（せうそこ）あり**しか**ばこそ、まゐり**しか**。

Q93. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

鐘の音をこそ聞き**しか**、姿は見ず。

Q94. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

一度（ひとたび）**しか**会はずりき。

Q95. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

あはれと見**しか**ば、忘れがたし。

Q96. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

申し**しか**ど、許されず。

Q97. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

ただ名残**しか**とどめず。

Q98. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

いと心苦しくこそ覚え**しか**。

Q99. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

文（ふみ）**しか**得ざりき。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「しか」の直前の語の活用形をもう一度確認しましょう。

- **過去の助動詞「き」の已然形「しか」…連用形+しか**。「～しかば（～たので）」「～しかど・しかども（～たけれども）」「こそ～しか（係り結び・已然形結び）」が典型。入試で圧倒的に頻出。
- **副助詞「しか」（限定）…体言・副詞など+しか**。「～だけ・～しか～ない」。下に打消（ず・じ・なし・ざり）を伴うのが目印。上代に多く中古以降は少ない。
- 見分けの軸は「**直前が連用形か否か**」と「**こそ・ば・ど／打消の有無**」。

「しか」を見たら、まず直前が連用形かを確認し、係助詞「こそ」や「ば・ど」を探す習慣をつけましょう。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「き」「に」「ば」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太